

平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月9日 東

上場会社名 サムティ株式会社 上場取引所  
 コード番号 3244 URL http://www.samty.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 和志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 松井 宏昭 (TEL) 06(6838)3616  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	31,143	126.7	5,664	141.8	4,052	275.4	4,397	240.9
26年11月期第3四半期	13,737	△36.1	2,343	△3.5	1,079	△9.2	1,290	83.0

(注) 包括利益 27年11月期第3四半期 4,245百万円(239.4%) 26年11月期第3四半期 1,250百万円(75.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	203.61	176.43
26年11月期第3四半期	61.18	52.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第3四半期	114,057	26,473	23.0
26年11月期	99,709	24,966	23.3

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 26,255百万円 26年11月期 23,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	22.00	22.00
27年11月期	—	0.00	—		
27年11月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	56.0	6,000	48.4	4,000	73.6	4,400	91.0	204.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成27年10月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 2社(社名) 合同会社エス・ホテルオペレーションズ長崎、除外 社(社名)  
 一般社団法人エス・ホテルオペレーションズ長崎
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年11月期3Q	24,035,127株	26年11月期	23,790,861株
② 期末自己株式数	27年11月期3Q	2,703,182株	26年11月期	1,600,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年11月期3Q	21,596,552株	26年11月期3Q	20,716,937株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方、中国経済の減速による海外経済の下振れ懸念等、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの属する不動産業界におきましては、良好な資金調達環境のもと、J-REITや私募ファンド等による物件取得意欲は依然旺盛で、活発な取引が続いております。また、国土交通省が発表した基準地価（平成27年7月1日時点）が、三大都市圏平均では住宅地、商業地ともに上昇が継続し、地方圏では特に地方中枢都市で住宅地、商業地ともに上昇率が拡大しております。

このような事業環境下におきまして、当社グループは、中長期経営計画「Challenge 40」のもと、当社をスポンサーとし、連結子会社であるサムティアセットマネジメント株式会社が資産運用業務を受託するサムティ・レジデンシャル投資法人を設立して、当該投資法人の投資口の東京証券取引所への上場準備を進め、平成27年6月30日に上場しております。これに当たり、当社が保有する収益不動産を当該投資法人へ売却いたしました。また、不動産賃貸事業の強化として支店網の拡充を図っておりますが、各事業拠点において、地方の政令指定都市や中核都市に存在する収益性の高い物件の取得を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高31,143百万円（前年同四半期比126.7%増）、営業利益5,664百万円（前年同四半期比141.8%増）、経常利益4,052百万円（前年同四半期比275.4%増）、四半期純利益4,397百万円（前年同四半期比240.9%増）となりました。

#### ①不動産事業

不動産事業は、自社ブランド「S-RESIDENCE」シリーズ等の企画開発・販売及び収益不動産等の再生・販売を行っております。また投資用マンションの企画開発・販売を行っております。

収益マンションとして「サムティラヴィール新大阪（大阪市淀川区）」、「サムティ ラ・ガール住道（大阪府大東市）」、「リビングステージ榴岡公園（仙台市宮城野区）」、「メゾン潮見（東京都江東区）」、「ルフェリエ松庵（東京都杉並区）」、「アルテヌ市川（千葉県市川市）」、「スタジオスクエア蒔田公園（横浜市南区）」、「スタジオスクエア本通（静岡市葵区）」、「プレミネテパーク藤が丘（名古屋市名東区）」、「リベール山王（名古屋市中川区）」、「ベレーサ六番町（名古屋市熱田区）」、「サムティ福岡県庁前（福岡市博多区）」、「REGALO筑紫通り（福岡市博多区）」、「プリモ・レガーロ野間（福岡市南区）」等売却いたしました。

また、投資用マンションとして「サムティ福島PORTA（大阪市福島区）」、「レオンコンフォート本町（大阪市中央区）」、「W-STYLE難波（大阪市浪速区）」、「ベルグレードSK DUE（東京都足立区）」、「アイル芝浦東京ベイ（東京都港区）」、「プレール・ドゥーク北千住（東京都足立区）」、「アイルイムブル日本橋（東京都中央区）」において322戸を販売いたしました。

この結果、当該事業の売上高は23,305百万円（前年同四半期比165.8%増）、営業利益は2,766百万円（前年同四半期比98.5%増）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション、オフィスビル、商業施設、ホテル等の賃貸及び管理を行っております。

賃料収入の増加を図るべく、営業エリアの拡大並びに収益不動産の仕入の強化に努め、「サムティ宮ヶ丘レジデンス（札幌市中央区）」、「サムティレジデンス24（札幌市西区）」、「サムティレジデンスN15（札幌市東区）」、「サムティ上社（名古屋市名東区）」、「サムティ山王レジデンス（名古屋市中川区）」、「ブラウランド守山（名古屋市守山区）」、「サムティ神戸駅南通（神戸市兵庫区）」、「サムティ神戸浜崎通（神戸市兵庫区）」、「サムティ室見（福岡市早良区）」、「プリオ大名Ⅱビル（福岡市中央区）」、「サンレジデンス慶徳（熊本市中央区）」、「フォNSTタワー西千石（鹿児島県鹿児島市）」を取得いたしました。

この結果、当該事業の売上高は7,319百万円（前年同四半期比65.0%増）、営業利益は3,876百万円（前年同四半期比106.0%増）となりました。

#### ③その他の事業

その他の事業は、「センターホテル東京（東京都中央区）」、「センターホテル大阪（大阪市中央区）」及び当第3四半期連結会計期間において新たに取得した「エスペリアホテル長崎（長崎県長崎市）」の保有・運営に加え、分譲マンション管理事業及び建設・リフォーム業を行っております。

この結果、当該事業の売上高は519百万円（前年同四半期比22.4%減）、営業利益は141百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、14,347百万円増加し、114,057百万円となっております。このうち流動資産は10,911百万円増加し、56,522百万円となっており、固定資産は3,270百万円増加し、57,327百万円となっております。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が6,228百万円、販売用不動産が4,706百万円それぞれ増加する一方で、仕掛販売用不動産が761百万円減少したことなどによるものであります。固定資産の主な増加要因は、有形固定資産が2,727百万円、投資その他の資産が549百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度末と比べ、12,841百万円増加し、87,584百万円となっております。このうち流動負債は2,889百万円増加し、20,745百万円となっており、固定負債は9,951百万円増加し、66,838百万円となっております。流動負債の主な増加要因は、短期借入金が4,127百万円増加する一方で、1年内返済予定の長期借入金が1,403百万円減少したことなどによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金6,255百万円、新株予約権付社債が3,755百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、四半期純利益の計上により利益剰余金が4,397百万円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が488百万円減少、自己株式の取得により自己株式が1,000百万円増加、合同会社アンビエントガーデン守山の完全子会社化に伴い少数株主持分が1,541百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ1,506百万円増加し、26,473百万円となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により1,395百万円減少、投資活動により3,627百万円減少、財務活動により11,251百万円増加した結果、前連結会計年度末と比べ、6,228百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末には15,742百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により使用した資金は、1,395百万円（前第3四半期連結累計期間は6,057百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,308百万円、有形固定資産売却損益1,935百万円、減価償却費781百万円、たな卸資産の増加3,963百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、3,627百万円（前第3四半期連結累計期間は5,983百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9,989百万円、有形固定資産売却による収入8,266百万円、投資有価証券の取得による支出1,371百万円、連結子会社株式の追加取得による支出970百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により獲得した資金は、11,251百万円（前第3四半期連結累計期間は9,843百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入れによる収入18,646百万円、短期借入金の返済による支出11,019百万円、長期借入れによる収入23,741百万円、長期借入金の返済による支出22,389百万円、新株予約権付社債の発行による収入3,981百万円、自己株式の取得による支出1,000百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年6月17日付「当社保有不動産に係る重要事象発生、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成27年11月期（平成26年12月1日～平成27年11月30日）通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年10月9日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、合同会社エス・ホテルオペレーションズ長崎及び一般社団法人エス・ホテルオペレーションズ長崎を新規設立したことにより、それぞれ当社の連結子会社しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,023	16,252
売掛金	218	506
販売用不動産	17,377	22,083
仕掛販売用不動産	17,324	16,563
商品	0	17
貯蔵品	1	4
繰延税金資産	232	211
その他	440	894
貸倒引当金	△7	△10
流動資産合計	45,611	56,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,126	22,503
信託建物（純額）	4,154	5,667
土地	23,136	22,424
信託土地	2,359	2,874
その他（純額）	68	103
有形固定資産合計	50,846	53,573
無形固定資産		
のれん	107	101
その他	58	58
無形固定資産合計	165	159
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665	2,374
繰延税金資産	174	54
その他	1,224	1,184
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	3,044	3,593
固定資産合計	54,056	57,327
繰延資産		
創立費	0	0
開業費	41	207
繰延資産合計	41	207
資産合計	99,709	114,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,489	1,842
繰延税金負債	1	—
短期借入金	2,732	6,859
1年内返済予定の長期借入金	10,802	9,399
未払法人税等	1,217	1,338
その他	1,612	1,305
流動負債合計	17,856	20,745
固定負債		
長期借入金	52,147	58,403
新株予約権付社債	—	3,755
繰延税金負債	1,895	1,779
退職給付に係る負債	82	100
預り敷金保証金	1,990	1,987
建設協力金	759	718
その他	11	93
固定負債合計	56,886	66,838
負債合計	74,742	87,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,893	7,015
資本剰余金	6,793	6,916
利益剰余金	10,583	14,492
自己株式	△1,068	△2,068
株主資本合計	23,201	26,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	△100
その他の包括利益累計額合計	35	△100
新株予約権	187	217
少数株主持分	1,541	—
純資産合計	24,966	26,473
負債純資産合計	99,709	114,057

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	13,737	31,143
売上原価	9,427	23,222
売上総利益	4,309	7,921
販売費及び一般管理費	1,966	2,257
営業利益	2,343	5,664
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	45	10
保険解約返戻金	12	15
金利スワップ評価益	0	—
その他	8	8
営業外収益合計	68	37
営業外費用		
支払利息	1,096	1,304
支払手数料	193	281
社債発行費	—	18
持分法による投資損失	38	—
その他	3	43
営業外費用合計	1,331	1,648
経常利益	1,079	4,052
特別利益		
固定資産売却益	536	2,656
負ののれん発生益	1,251	555
特別利益合計	1,788	3,212
特別損失		
固定資産売却損	53	721
固定資産除却損	14	6
減損損失	—	228
段階取得に係る差損	885	—
その他	0	—
特別損失合計	953	956
税金等調整前四半期純利益	1,914	6,308
法人税、住民税及び事業税	625	1,922
法人税等調整額	53	5
法人税等合計	679	1,927
少数株主損益調整前四半期純利益	1,234	4,381
少数株主損失(△)	△55	△16
四半期純利益	1,290	4,397

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,234	4,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△136
その他の包括利益合計	16	△136
四半期包括利益	1,250	4,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,306	4,261
少数株主に係る四半期包括利益	△55	△16

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,914	6,308
減価償却費	739	781
減損損失	—	228
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	3
受取利息及び受取配当金	△48	△13
支払利息	1,096	1,304
持分法による投資損益(△は益)	38	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△483	△1,935
負ののれん発生益	△1,251	△555
段階取得に係る差損益(△は益)	885	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	18
売上債権の増減額(△は増加)	△35	△257
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,438	△3,963
仕入債務の増減額(△は減少)	△884	351
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	564	△2
その他	△531	△592
小計	△4,439	1,683
利息及び配当金の受取額	48	13
利息の支払額	△1,103	△1,367
法人税等の支払額	△562	△1,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,057	△1,395
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	330	—
定期預金の預入による支出	△10	—
有形固定資産の売却による収入	3,121	8,266
有形固定資産の取得による支出	△9,588	△9,989
無形固定資産の取得による支出	△2	△19
投資有価証券の取得による支出	△2	△1,371
投資有価証券の償還による収入	384	539
新規連結子会社の取得による支出	△74	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△141	—
連結子会社株式の追加取得による支出	△5	△970
建設協力金の支払による支出	△38	△41
出資金の回収による収入	1	1
出資金の払込による支出	△30	△43
長期貸付金の回収による収入	31	—
その他	41	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,983	△3,627

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,499	18,646
短期借入金の返済による支出	△4,964	△11,019
長期借入れによる収入	26,583	23,741
長期借入金の返済による支出	△14,672	△22,389
社債の発行による収入	—	3,981
株式の発行による収入	5	—
自己株式の取得による支出	△1,068	△1,000
配当金の支払額	△340	△504
その他	△198	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,843	11,251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,196	6,228
現金及び現金同等物の期首残高	7,681	9,513
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	138	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,623	15,742

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

- (1) 当社は、平成27年3月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得により、自己株式が999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において2,068百万円となっております。  
なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成27年4月7日までにすべて終了いたしました。
- (2) 当第3四半期連結累計期間において、円貨建転換社債型新株予約権付社債の転換により、資本金が122百万円、資本剰余金が122百万円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が7,015百万円、資本剰余金が6,916百万円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,767	4,435	534	13,737	—	13,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	134	135	△135	—
計	8,768	4,435	668	13,872	△135	13,737
セグメント利益	1,393	1,881	90	3,365	△1,022	2,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,022百万円は、セグメント間取引消去△66百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△956百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,305	7,319	519	31,143	—	31,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	162	162	△162	—
計	23,305	7,319	682	31,306	△162	31,143
セグメント利益	2,766	3,876	141	6,783	△1,119	5,664

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,119百万円は、セグメント間取引消去△47百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△1,070百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、減損損失228百万円を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

不動産事業において、平成27年2月27日に連結子会社である合同会社アンビエントガーデン守山を営業者とする匿名組合への出資を追加取得して合同会社アンビエントガーデン守山を完全子会社化いたしました。これにより555百万円の負ののれん発生益を計上しておりますが、特別利益のため報告セグメントには配分しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。